

にほんごひろば



海外文化講座

「アジアの国々と言葉」

今回は、学習参加者の多い6ヶ国を取り上げ、各国の概況(言葉を含む)を解説し好評でした。次回はインド等を取り上げます。ご期待ください。

開催概要

日時 2025年12月6日(土曜)

11:30~12:00

場所 中央図書館 集会室

解説 にほんごひろば 古沢

参加者数 19名



熱心に説明する解説者

当日のレジュメより抜粋



国名 首都	人口・面積	公用語等	宗教、民族等
中国 北京:かつての名称は大都、北平など	約14億1千万人 約960万km ² (日本の約25倍)	普通語(公用語)、 上海語、広東語、福建語 等の方言あり。	仏教、道教等 漢民族のほかに55の少数民族あり。
ベトナム ハノイ:「二つの川の間」の意	約1億人 約33万km ² (日本の約88%)	ベトナム語(公用語) 1945年に漢字廃止	仏教が中心 親日国 1987年よりドイモイ(刷新)政策実施。経済発展がめざましい。
インドネシア ジャカルタ:「勝利の都市」の意	約2億8千万人 約189万km ² (日本の約5倍)	インドネシア語(公用語) ジャワ語、バリ語等の方言あり。	世界最大のイスラム教国

当日の感想

知らないことを教えて
いただき面白かったです。
ありがとうございました。

特に各国の挨拶の言葉
と中国の方言なども面
白かったです。勉強に
なりました。

講座の内容はわかりや
すく、しかも、資料はと
ても詳しくて復習しや
すいです。

各国の人口や面積を日本
と比べたので、アジアの
イメージが湧きやすか
ったです。



解説者と参加者の間で中国の方言等についての質疑応答があり
活気がありました。（古沢）

にほんごひろば

海外文化講座

「サウジアラビアの文化を知ろう！」

海外文化講座の狙い、学習者の出身国の文化を紹介し、学習者とボランティアの相互理解を深めること。草の根交流の一つ。



民族衣装のバツール氏

日時 9月13日(土曜) 11:30~12:20

場所 中央図書館 多目的ホール

テーマ 「サウジアラビアの文化を知ろう！」

ゲスト ハミド バンダル バツール氏
(サウジアラビア出身)

司会 にほんごひろば 古沢

参加者 25名

当日の様子

ゲストのバドさん(通称)が民族衣装で登場しサプライズが起きました。スピーチの内容は、同国の気候、イスラム教徒の戒律、食事、ガソリン価格、日本のイメージ等を日本語で紹介し好評でした。なお、3名の草加市民の方々が3階の掲示板をご覧になって聴講を希望されご出席になりました。



1日5回のお祈りについて説明するバドさん



レジュメを見ながら説明するバドさん

「サウジアラビアの文化を知ろう！」

スピーチのポイント

- 最高気温 50 度の日が年 2 回程度ある。
- イスラム教の戒律 1 日 5 回のお祈り、約 1 か月の断食（ラマダン）
一生に一度のメッカ巡礼、貧者への施しなど。
- 税金は存在しない。 ・ガソリンは 1 リットル約 50 円。
- 日本は文化が豊かな国というイメージがある。
- 日本のアニメは人気がある。

参加者の声

- 民族衣装は素敵です。今回の講座は現地の生活様式や価値観を理解する手掛かりとなりました。
- バドさんの発表は素晴らしかったです。サウジの生活と私の今までの生活は全く違うので興味を持って聞きました。毎日 5 回の礼拝をおこなうことにはとても驚きました。10 項目に分けたポイントの説明はとてもわかりやすかったです。



熱心に聞く参加者の皆さん

ゲストの感想

今日はアラブ文化の発表をさせていただき、ありがとうございました。とても楽しかったです。

担当者の声

バドさんは日本語学習歴が短いにもかかわらず、自然な日本語を使い素晴らしいスピーチを行い、驚きました。

参考図書

- 地球の歩き方 「ドバイとアラビア半島の国々」 ダイヤモンド社 290.9 千
 - 地図でスッと頭に入る中東&イスラム 30 の国と地域 昭文社監修 高橋和夫 292.7 千
 - 日本人として知っておきたい世界を動かす現代イスラム 徳間書店 宮田律著 292.7 千
- (いずれも図書館 3 階で閲覧できます。ぜひご覧ください。)